

**伊勢志摩定住自立圏合同調印式 議事録**  
**(平成 25 年度第 2 回伊勢志摩定住自立圏推進協議会)**

日時：平成 25 年 7 月 18 日（木）16：00

会場：三重県伊勢庁舎 4 階 402 会議室

**(進行役：森井情報戦略局長)**

お待たせいたしました。

本日は、皆様にはご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、ただいまから、平成 25 年度第 2 回伊勢志摩定住自立圏推進協議会並びに定住自立圏形成協定に係る合同調印式を始めさせていただきます。私は、本日司会進行を務めさせていただきます、伊勢市情報戦略局の森井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、式次第に沿いまして、進めさせていただきますと存じます。

まず、本日、ご出席いただいております皆様方のご紹介をさせていただきます。

鳥羽市長・木田久主一様、志摩市長・大口秀和様、玉城町長・辻村修一様、度会町長・中村順一様、大紀町長・谷口友見様、南伊勢町長・小山巧様、明和町長・中井幸充様、そして、伊勢市長・鈴木健一でございます。

また、本日は、三重県から、ご臨席を賜っております。ご紹介をさせていただきます。

三重県地域連携部長・水谷一秀様、三重県南勢志摩地域活性化局長・頓部邦夫様、三重県松阪地域防災総合事務所長・高沖秀宣様。

どうもありがとうございます。

それでは、開会に先立ちまして、当協議会の会長でございます伊勢市長鈴木健一からご挨拶申し上げます。

**(会長：鈴木伊勢市長)**

皆様、改めましてこんにちは。本日は、伊勢志摩定住自立圏形成協定の合同調印式の開催にあたりまして、大変公務ご多忙のところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

これまでも、伊勢、鳥羽、志摩、度会地域の皆様方と様々な形で住民の方が交流し、また文化歴史についても歴史の深い地域でありました。今回、定住自立圏形成協定の締結につきましては、それぞれの地域のもつ財産、そして人の交流、こういったものをもう 1 回見直して、それぞれの地域の住民にとってより良い暮らしとなるよう、努力をさせていただきたい第一歩となりますので、是非とも今後とも皆様方のご支援とご協力、そして何よりも、我々だけでなく地域住民の交流、そして職員間の交流が一番大事となつてこようかと思っておりますので、是非ともこの点につきまして、ご指導ご協力を賜る

ようお願いを致します。簡単ではございますが、調印式の開催にあたりまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

#### (進行役)

続きまして、本日ご臨席賜っております、三重県地域連携部長の水谷一秀様から、ご挨拶を頂戴します。

#### (水谷三重県地域連携部長)

ただいまご紹介いただきました三重県地域連携部長の水谷でございます。伊勢志摩定住自立圏合同調印式にお招きをいただきまして、ありがとうございます。開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は伊勢市をはじめ、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町によります定住自立圏形成協定が締結され、県内最大の定住自立圏が形成されますことを心よりお喜び申し上げます。この定住自立圏構想は、今後大幅な人口減少と急速な少子高齢化が見込まれるなか、地方圏におきまして安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、逆に三大都市圏から地方圏への人口の流れを創出しようとする構想であり、国家プロジェクトとして、総務省が推進する政策でございます。こうした中で、伊勢市におかれましては、本年2月25日に中心市宣言を行いました。この中心市宣言を踏まえ、定住自立圏構想の円滑な推進を図るために、伊勢志摩定住自立圏推進協議会を設置して、関係市町の皆様が熱心にご協議いただきました結果、本日を迎えることができましたことは、皆様方のご尽力の賜物と考えております。今後は、定住自立圏共生ビジョンを策定いただくこととなりますが、県としましてもこれまで以上に協力、支援を行ってまいりたいと考えております。定住自立圏共生ビジョンが真に実のあるものとなり、この取組により伊勢志摩圏域が更なる発展を遂げますことをご期待申し上げます。最後になりましたが、伊勢志摩圏域の今後ますますのご発展を心から祈念しまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございました。

#### (進行役)

水谷部長様、ありがとうございました。それでは、ここからの進行につきましては、会長でございます伊勢市長鈴木健一が行います。市長、よろしくお願いたします。

#### (会長)

それでは、早速ではございますが、会議を進行させていただきます。

本日は、『定住自立圏の形成に関する協定』、こちらにつきまして、お願いしたいと考えております。

協定の内容につきましては、各市町の議会におきまして、すでに議決をされている内

容でございます。これまでの経緯及び今後の予定、並びに協定項目につきましては、すでにご承知をいただいているかと思いますが、本日、資料をお付けしておりますので、ご確認をください。

なお、今後については、定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、ビジョンの策定に向け、鋭意、取り組んでいきたいと思っております。

それでは皆様方から何かご意見があれば頂戴したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

#### 【「なし」の声】

よろしいでしょうか。

それでは、各市町の議会において議決をいただいた協定内容で、伊勢市と締結することによろしいでしょうか。

#### 【異議なしの声】

ありがとうございます。

それでは、この後、協定締結を行いますので、司会のほうから進行をさせていただきます。

#### （進行役）

それでは、ただいまから、「定住自立圏の形成に関する協定」を締結するための、合同調印式に移らせていただきます。

進行手順について、ご説明をいたします。

ただいまから、鳥羽市長様から順に、こちらの壇上の方へ移動していただき、協定書にご署名をいただきます。その後、各1通をお持ちいただき、お二人での写真撮影をさせていただきますと存じます。

その後、志摩市長様、玉城町長様、度会町長様、大紀町長様、南伊勢町長様、明和町長様の順で、同じようによろしくお願ひしたいと思います。

案内につきましては、私のほうからさせていただきます。

それでは、伊勢市と鳥羽市における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

伊勢市長、木田鳥羽市長様、壇上の方へお移りいただきたいと思っております。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

#### 【伊勢市長、鳥羽市長署名】

木田市長様、ありがとうございました。

続きまして、伊勢市と志摩市における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

大口市長様、よろしくお願ひいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

**【伊勢市長、志摩市長署名】**

大口市長様、ありがとうございました。

続きまして、伊勢市と玉城町における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

辻村町長様、よろしくお願ひいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

**【伊勢市長、玉城町長署名】**

辻村町長様、ありがとうございました。

続きまして、伊勢市と度会町における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

中村町長様、よろしくお願ひいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

**【伊勢市長、度会町長署名】**

中村町長様、ありがとうございました。

続きまして、伊勢市と大紀町における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

谷口町長様、よろしくお願ひいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

**【伊勢市長、大紀町長署名】**

谷口町長様、ありがとうございました。

続きまして、伊勢市と南伊勢町における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

小山町長様、よろしくお願ひいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

【伊勢市長、南伊勢町長署名】

小山町長様、ありがとうございました。

最後となりましたが、伊勢市と明和町における「定住自立圏の形成に関する協定」を締結いたします。

中井町長様、よろしくをお願いいたします。

それでは、協定書にご署名をお願いいたします。

【伊勢市長、明和町長署名】

皆様、ありがとうございました。

ただいまをもちまして、伊勢市と各市町様との定住自立圏の形成に関する協定締結が無事終了いたしました。

それでは、ここで、各市長様並びに各町長様から、一言ずつご挨拶を頂戴いたしたいと思います。

木田鳥羽市長様、よろしくお祈いします。

(木田鳥羽市長)

皆さんこんにちは。

本日は伊勢志摩定住自立圏の調印式ということで、誠におめでとうございます。今日のために色々ご努力いただきました三重県の方々、そして各市町の関係者の方々に御礼申し上げたい、というふうに思います。今までも南勢地区におきましては、共通の課題に関しまして、広域連合等を形成しまして共に協力をしてくると、こういうことはやってきたわけですが、本日ここに伊勢市を中心とする定住自立圏が形成されたということで、この圏域全体で協力ができる、そういう体制が整ったということで大変うれしく思うところであります。私は日頃から、伊勢市は兄貴で鳥羽市は弟だということを、あちらこちらで言ってきたんですけども、志摩市が5町が合併しまして、最近では伊勢市が長男で志摩市が次男で、鳥羽市が三男にちょっと下がったんですけども、そんな話をあちらこちらでしてきたんですけども、これで3市5町が8人兄弟ということで、これから協力をし合いながら、新しいまちづくりができたらいいなと、考えているところでございます。伊勢志摩国立公園という名が示すとおり、私たちは伊勢市と志摩地方のおかげで恩恵を受けているところがたくさんあるわけですが、特に、伊勢市さんにおかれては、20年に一度ご遷宮があるということで、その費用は550億円ということで、20年に一度、本当にオリンピックを誘致したぐらいの効果が、20年ごとにく

るということで、非常にありがたい思いをしているわけですが、そういったことも含めて、8人の兄弟でこれから人口流出を止めて、そして新しいまちづくりができますように共に頑張りたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(進行役)

木田市長様ありがとうございました。それでは、続きまして大口志摩市長様、よろしくよろしくお願いいたします。

(大口志摩市長)

先ほどの調印ありがとうございます。伊勢市さんとは隣ということで、これまでもお世話になっております。特に医療の問題、経済の問題、観光の問題、伊勢市からのスピルオーバー効果を我々にとっては、受けていることとなります。今後は、それを意識して、今まではその効果を自動的に受けていたんですけれども、この効果を積極的にお互いに話し合いながら、まちづくりができる、今日の少子高齢化において、また当地域を守るために大変重要なことだと思っておりますので、この締結を非常に喜んでおります。今後ともよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

(進行役)

大口市長様ありがとうございました。続きまして辻村玉城町長様、よろしくお願いいたします。

(辻村玉城町長)

今日こうして皆さん方のご尽力のおかげで、定住自立圏の合同調印の運びになりましたこと、本当にありがたく嬉しく思っている次第でございます。現在までも色々な面で連携をさせていただいておりますけれども、更にこの圏域はご承知のように少子高齢化が急速に進んでおる地域でありますから、一層この地域の定住を促進するために、色々な面で一致協力して力を合わせて地域の発展のために共に取り組みさせていただきたいと、こんなふうに思っています。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(進行役)

辻村町長様ありがとうございました。続きまして中村度会町長様、よろしくお願いいたします。

(中村度会町長)

ただいま調印ということで、我々2回だけペンを取って書くだけなんですけれども、

伊勢市長さん、何と14回書かれたということで、この重みは大きいなど、本当にご苦労さんでございます。この伊勢志摩定住自立圏構想、これ非常に難しい難問だと思います。県のお骨折りもあったと思いますけれども、こうしてこういう制度を取り入れた以上、ちょうど式年遷宮の年にあたりますので、できましたらやはり良い国の制度をそのものの趣旨に近いような状態で、伊勢市さんを中心に複数の我々市町共に、この地域の活性化に努力をしまいたいと思います。また今後ともよろしくお願いをしたいと思います。以上です。

#### (進行役)

中村町長様ありがとうございました。続きまして谷口大紀町長様、よろしくお願いをいたします。

#### (谷口大紀町長)

今日は本当に市長さん方、町長さん方、おめでとうでございます。大紀町は一番南西地域にあり、そして過疎でもあります。県下で29位を駅伝と共に財政力も死守をいたしております。これだけは譲らないという強い気持ちでおります。皆さんの足手まといにならないように一生懸命に、歩幅の脚の短い年寄りをいたわり、あんまり離さないように、着いていける歩幅でどうぞ仲良くよろしくお願いを申し上げます。以上であります。

#### (進行役)

谷口町長様ありがとうございました。続きまして小山南伊勢町長様、よろしくお願いをいたします。

#### (小山南伊勢町長)

伊勢の鈴木市長様、本当に中心市宣言をしていただいて、ありがとうございました。南伊勢町としては、いつでもどこへ出かけるにも、まず伊勢、山田に来て、それから色々な所に出かけるということで、今回お集まりいただきました明和町さんを含む伊勢市、鳥羽市、志摩市、そして度会郡の各町は、古来ずっと歴史と伝統でつながっていた地域というふうに思います。現在も人々の交流とか経済は繋がって、そしてこの伊勢を中心に色々な活動が行われていると思います。ただ、こういう機会ですらに我々行政機関が、もっともっと地域の繋がり、絆を大切にして、色々協力しながら色々な政策に取り組んでいくということが、私は大事だというふうに思いますので、今後ともどうぞ皆さん、このメンバーで伊勢志摩地域、そして明和町さんもちろん伝統的に伊勢神宮と繋がっているところですから、一緒に良い地域を作っていけるように頑張らせていただきたいと思いますので、皆さんどうぞよろしくお願いをいたします。今日は本当にありがとうございます。

(進行役)

小山町長様ありがとうございました。それでは、最後になりましたですけれども中井明和町長様、よろしくお願ひいたします。

(中井明和町長)

まずもって今日の調印式が無事終了しましたこと、本当にありがたく思っているところでございます。特に私ところは途中から参加をさせていただくというような形の中で、皆様のご理解とご協力がありまして、今日の日を迎えること、本当に嬉しく思っているところでございます。先ほど来、お話がありましたように、伊勢市を中心とした私どもも福祉、そして教育の面で、病院も然りではありますが、特に伊勢神宮との関わりのある国史跡齋宮跡、そういった文化的な面、そして観光の面、そういった面でこれからも色々な形の中で伊勢市を中心としたこの地域が発展していくその一助になればと、そのように考えているところでございます。これを契機にこの地域がますますお互いに切磋琢磨しながら発展していく、そういう地域である、この機会にしていきたい、そのように考えます。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

(進行役)

中井町長様ありがとうございました。それでは、改めまして鈴木市長、一言お願ひします。

(鈴木伊勢市長)

皆さん本日は大変お忙しい中、調印式にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。この定住自立圏構想に至っては、平成22年の頃から議論してまいりました。県の皆様、本当にご尽力いただきましてありがとうございます。ただいま調印が終わりましたので、これからがスタートということでございます。是非とも皆様方のお力添えをいただいて、それぞれのまちの人々から、「ああ良かったあ」と言ってもらえるようなまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本日は本当にありがとうございました。

(進行役)

皆様方、本日はどうもありがとうございました。それではこれもちまして、合同調印式を閉会とさせていただきます。